

- ・年末調整で必要な書類の添付漏れがあり、住宅控除がされていなかったため、確定申告を行った。

■確定申告の方法は 3 通り

- ・手書きで確定申告書に記入し税務署に提出
- ・申告書をダウンロードし、入力後に印刷、税務署に提出
- ・申告書をダウンロードし、入力後にデータに署名、電子申告

■必要だったもの

- ・住民基本台帳カード (顔写真付き、中野区 500 円)
- ・公的個人認証サービス用電子証明書 (中野区 500 円)
- ・eGovernment/ ソフト (電子証明書取得時に中野区で配布)
- ・IC カードリーダー (ヨドバシカメラ 4000 円)
- ・32 ビット Windows (2000, XP, Vista)

■必要だった暗証番号・パスワード

- ・住基カードの暗証番号
- ・住基カードに入れる電子証明書のパスワード
- ・国税庁のシステム eTax のパスワード

■必要だった作業 (順番は前後します)

- ・住基カード取得時にもらう CD-ROM のインストール (日本政府の認証局の公開鍵を Windows と Java にインストール)
- ・公的認証サービスソフトの動作確認 (Java ベース)
- ・財務省の公開鍵の Windows へのインストール
- ・財務省支援認証局の公開鍵の Windows へのインストール
- ・eTax ソフトのインストール (Windows ベース)
- ・eTax ソフトへの 2007 年度分確定申告書フォームデータのインストール
- ・eTax での国税庁への開始申請
- ・eTax への電子証明書の登録
- ・2007 年度確定申告書データの作成
- ・添付書類の内容データの作成
- ・2007 年度確定申告書データへの電子証明書を使った署名データ作成
- ・2007 年度確定申告書データの送信

■できなかったこと

- ・64 ビット Window Vista には安い IC カードリーダーが対応していなかった。
- ・電子証明書ソフト CD-ROM なしでの日本政府認証局の登録

古い CD-ROM でインストールして認証局を登録してからアンインストールし、新しいソフトをダウンロードしてインストールする必要があった。

- ・ソフト上での入力でなく、国税庁の web ページ上で申告書データを入力できるサービスもある。
- ・送信後に受理されたかどうかは結局 eTax ソフトで確認する。
- ・eTax での入力・署名・送信・確認が楽だった。
- ・今年 (2008 年) か来年 (2009 年) に 1 回だけ 5000 円戻ってくる